

# 学術IDとライフログ(IDデータ)連携 実証実験システム

~ビックデーター時代のID管理~

SCSK株式会社

HPCソリューション部



## ライフログが、必要となったひとつの背景

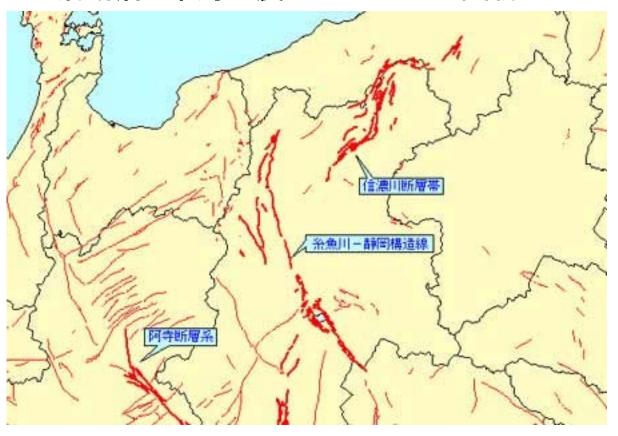
~ 学生見守りと保護者への情報提供 ~

### 事例:信州大学「学生見守りサービス」活断層とキャンパス



長野県周辺の活断層と東海地震

更新日:2013年7月11日



震源諸元 想定地震

マグニチュード 長さ(km)

傾斜 位置等

糸魚川-静岡構造線(北部)

8.0 80

60° E 小谷村~松本市

出典: http://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/kurashi/shobo/bosai/bosai/kisochosa/katsudanso/index.html

#### サービスの背景と現状の課題:



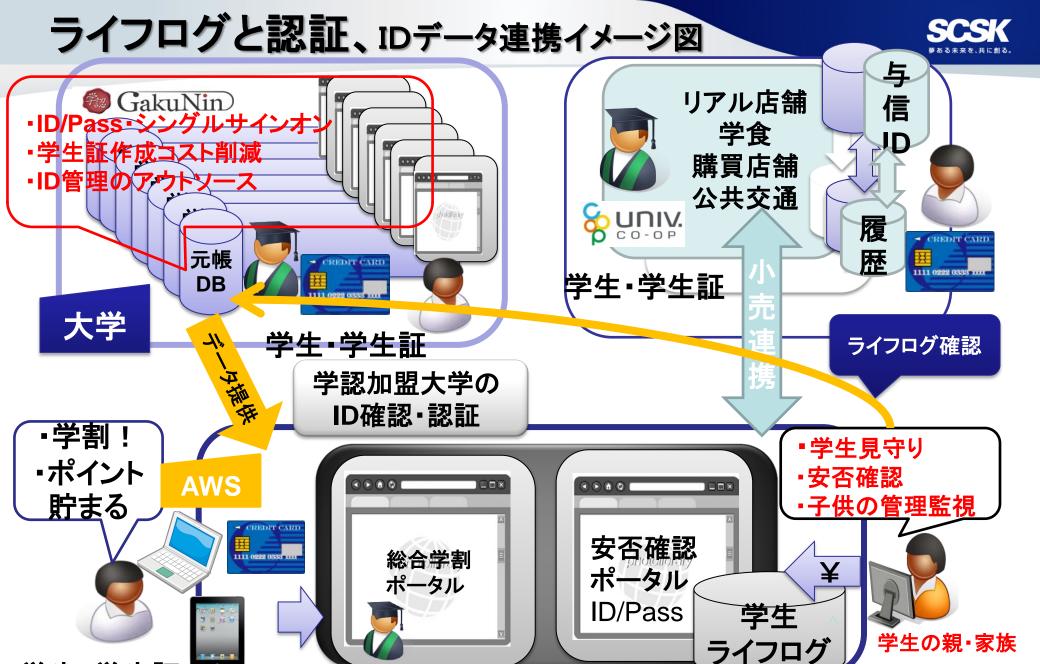
- 各大学は、学生の父兄からの安否確認情報を参照したいという要望に対し、 大学は父兄のID管理を行いたくない。⇒ 学情の負荷・コスト増大
- 2. 対処方法として、Public cloud ID (Facebook, GoogleApps, Microsoft, Twitter等)のIDを活用することによりIDマネージメントそのものからは開放されるが、IDを紐付けるFederateに関するライセンスコストや運用コストが発生する。
  - ⇒ 父兄からコストを回収できたとしても運用からは逃れられない。
- 3. 大学はID Federateのライセンスコストや運用をアウトソースしたいが、安心してアウトソースできるサービス提供先が無い。
  - ⇒ 学生の父兄への安否確認情報参照サービス提供に踏込みにくい
- 4. 海外からの留学生にも、日本人学生と同じレベルの情報を伝え且つ 祖国の家族にも安心していただける安否情報を提供できる可能性を 探りたい。



### 学生の認証と、保護者の認証

~ なにをもって確からしさを高めるか ~

Copyright© SCSK Corporation – 4. –

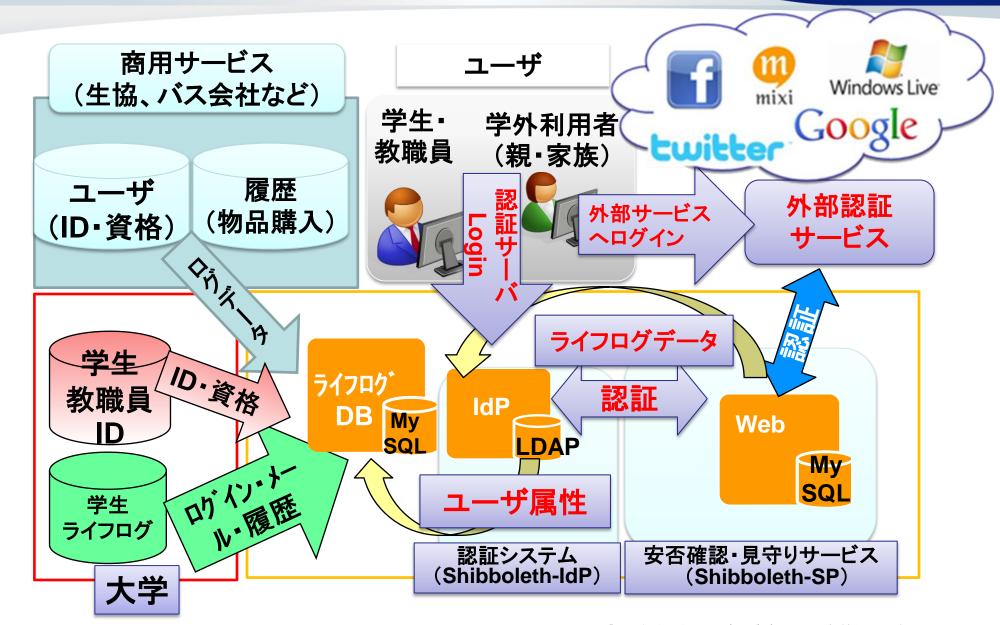


「四国総合通信局 ビッグデータの分析技術に関するセミナー」

学生•学生証

#### 事例:信州大学「学生見守りサービス」システム構成図

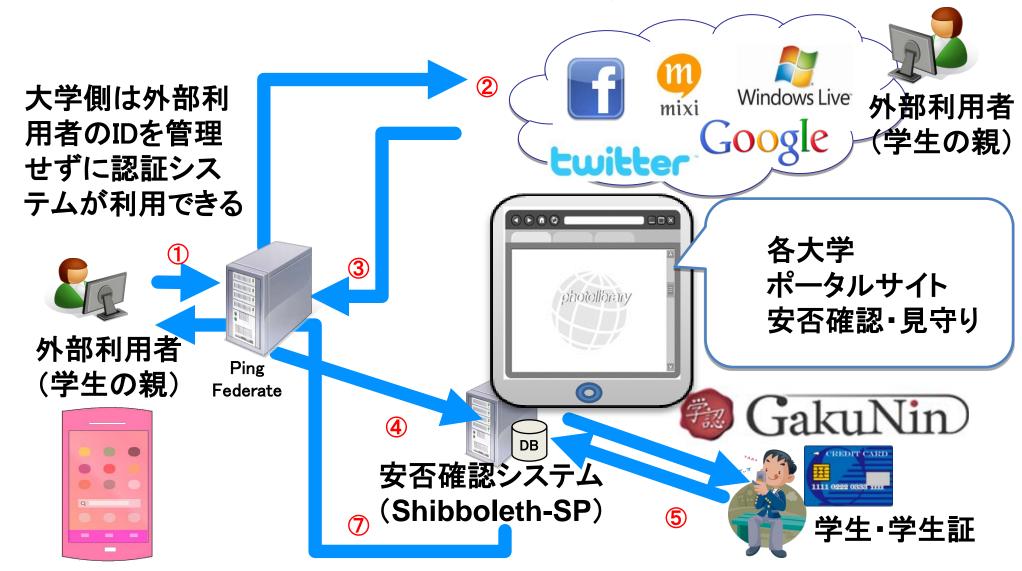




学生の親・保護者が自分の持つソーシャルネットサービス(SNS)のIDを使ってセキュアに子供や学生のライフログ (日常の活動)を見守るサービス。

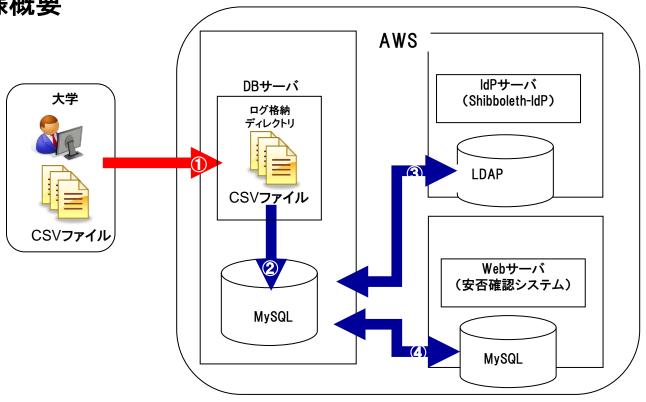


#### ライフログ閲覧権限を付与するのは学生(保護者)が決める









No	処理概要
1	収集したログファイルをSFTPによってDBサーバ上のログ格納ディレクトリへ送信
2	Webサーバ上のバッチ処理プログラムにてDBサーバ上のMySQLへデータ登録
3	②の処理完了後にIdPサーバ上のLDAPに学生/教職員のユーザ属性データを登録
4	②の処理完了後にDBサーバ上のMySQL内のライフログデータを取得し、Webサーバ上のMySQLにデータを登録



# 信州大学のシステム事例

~ ライフログに活用を視野に入れたポイント ~

Copyright® SCSK Corporation - 9 -

#### 3. 事例:信州大学 画面仕様 (1/7)



#### ■ ログイン



#### 3. 信州大学 画面仕様 (2/7)



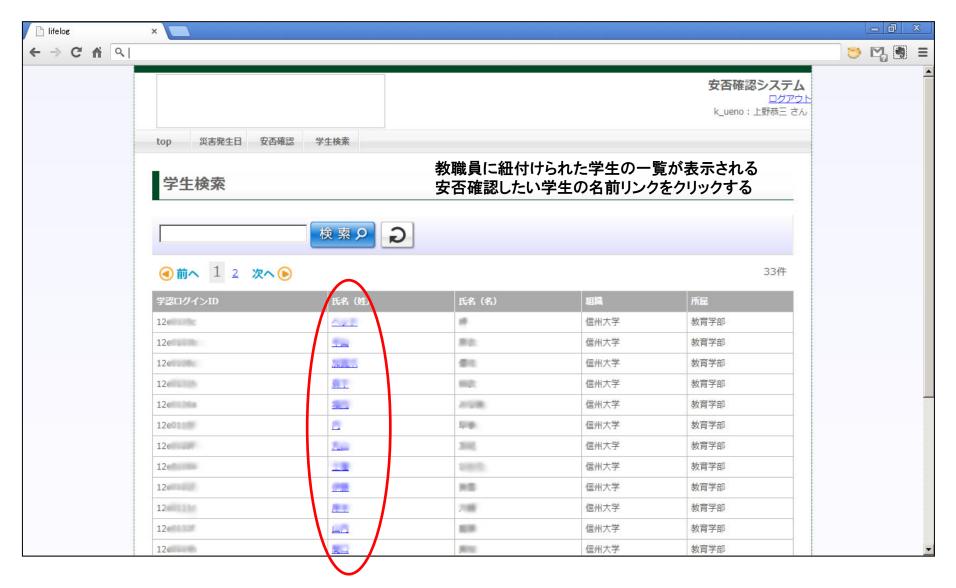
#### ■ 教職員メニュー



#### 3. 信州大学 画面仕様(3/7)



#### ■ 学生検索



#### 3. 信州大学 画面仕様(4/7)



#### ■ 安否確認(ライフログ)表示



#### 3. 信州大学 画面仕様 (5/7)



#### ■ 安否確認詳細表示



#### 3. 信州大学 画面仕様(6/7)



■ 安否確認表示(災害日登録時)



#### 3. 信州大学 画面仕様 (7/7)



#### ■ 災害日登録





### 今後の展開と、ICTSFCの活動

~ ライフログのビックデーター活用 ~

#### ICTSFCコンソーシアムの取組み



- ・ 1.「学生見守りサービス」の特長:
- · ① 大学は、父兄が安否確認情報を参照する際に機能として求められる父兄のID管理業務 から開放される。
- ・ ② Public cloud ID (Facebook, GoogleApps, Microsoft, Twitter等)のIDを活用できる。
- ・ ③ 父兄が通常使い慣れた Public cloud ID で「学生見守りサービス」にアクセスできる付加 価値サービスを大学が提供できる。
- · 2. コンソーシアムで取組み中の案件例:
- ① 信州大学:「学生見守りシステム」 12年度実証実験済み、2014年4月本稼動
- ② 長野県某自治体:発災時における住民安否確認サービス
- ③ お薬手帳:家族などによる薬剤受け取り確認システム
- ④ 中野区IDフェデレーション: 商店街等と連携した学割システム
- ⑤ 大崎町おこし: 商工会等と連携した住民ポイントサービス
- ⑥ 私鉄会社:利用者の安否確認サービス
  - ※ 上記、引き合いあり次年度構築に向け、対応中



# ご清聴いただきありがとうございました。

本件のお問い合わせ先

SCSK

ITエンジニアリング事業本部 HPCソリューション部

上野 恭三 吉田 柳太郎 まで、 ueno.kyozo@scsk.jp yoshida.ryutaro@scsk.jp

Tel:03-5859-3457